



12月の行事 大掃除

# 交野おりひめ大学通信

一人じゃ出来ないことを、10人で、50人で、100人で！

令和7年12月号



12月の花 ポインセチア



# 交野おりひめ大学

- そば学科
- おさけ学科
- クラフトビール部
- 交野伝説学科
- 酒づくりの会
- かたのカンヴァス
- カフェ部
- KATANOホイスコーレ準備室
- 目指せ！交野でティラノサウルスレース学科

## 交野の森で乾杯！

第3回目となる酒森2025  
過去最高の賑わいに！

交野おりひめ大学の「熱意」が  
交野の酒文化を盛り上げる。

学科生の「やりたい！」を実現する  
ことを最大の理念とする交野おり  
ひめ大学は、その活動を通して地域  
文化の活性化と創造に貢献してい  
ます。大学内には、酒造りや酒文化  
を深める「おさけ学科」、「クラフト  
ビール部」、そして「酒づくりの会」  
といった専門性の高い学科・部活動  
が存在し、交野の酒文化を支える基  
盤となっています。

昨年秋施行された「交野市乾杯条  
例」の制定にも関わるなど、大学の  
活動と行政による文化振興の機運  
が高まる中、「やりたい」を形にする  
学科生の想いが結実したのが、秋の  
風物詩として定着した「酒森(さか  
もり)」です。

こうした大学の活動と地域の機運  
を背景に、第3回目となる「酒森2  
025」が、クラフトビールと交野の  
地酒をメインに据え、秋晴れにも恵  
まれた11月1日(土)・2日(日)にわ  
たり星の里いわふね周辺で開催さ  
れ、多くの市民やクラフトビール愛  
好家が、自然の中でクラフトビール  
飲食店の味を堪能しました。

今号では、クラフトビール部の嶺  
倉リーダーが「酒森2025」を振  
り返ります。

### ○3つの「楽しむ」への挑戦

1年ぶりの開催となった酒森20  
25は「これまでより準備期間を長  
く確保し、従来のテーマ森の中で  
くつろぎと感動を」を継承しつつ、  
新たに「自然を楽しみ、交流を楽し  
み、地域を楽しむ」を「コンセプトに  
掲げ、これまでの経験を活かしつ  
つ、様々な新しい取り組みに挑戦し  
ました。



たくさんの来場者と一緒に、乾杯！

## ◇自然を楽しむ

今回の酒森では、より深く自然  
を感じてもうための工夫を凝ら  
しました。「ブルワリーと地酒のブ  
ースを森側に集約した会場配置  
は、「森が近いと感じた」「散策し  
ながら、ビールを選べて楽しい」  
といった来場者の声を多くいただ  
きました。

また、森の中にラグを敷いた休  
憩スペースやステージを設置し、休  
品や紙芝居などを披露。さらに  
河原へのアクセスを開放したこと  
で、来場者された方々には思い思  
いの場所で、ゆったりとくつろぎ  
の時間を過ごしていただけたと思  
います。

## ◇交流を楽しむ

お客様、ブルワリー、スタッフ間  
の新たな交流を生むための試み  
が、酒森に新たな魅力を加えまし  
た。特に、1時間ごとのブルワリー  
による乾杯コールは大きな盛り上  
がりを見せ、出店者とお客様の距  
離が一気に縮まりました。

また、場所ではなく「スタッフを  
探す」「二二一クなスタンプラリー」  
は、会話のきっかけとなり、会場全  
体に笑顔と活気があふれました。  
写真撮影用パネルも、お客様と  
スタッフの「ミニユニークな写真」を深  
めの予想外のツールとなり、好評  
でした。



森の中でクラフトビールを。みなさんいい笑顔ですね♪

## ◇地域を楽しむ

交野ブランドの発信にも注力し、  
飲食店は、交野市内の事業者さん  
に限定。ステージパフォーマーも  
地元ゆかりの方々を選定し、交野  
の味と、芸能の魅力を満喫しても  
らう場としました。交野PR大使  
の小椋寛子さんに初日のMCを務  
めていただき、その親しみやすい  
人柄で会場の雰囲気を一層和ませ  
ました。市外からの来場者も多  
く、「アンケートで交野の銘品が当  
たり、交野の良さを知った」と、  
地域を感じる取り組みに大変喜ん  
でおられました。

次回開催を、どうぞお楽しみに！

(井上筆)